

2023 年度採択団体 活動報告の紹介

Social

特定非営利活動法人 DAREDEMO HERO



実施プロジェクト名/対象国

貧困層から未来のリーダーを育成するプロジェクト/フィリピン共和国



プロジェクト概要

やる気と志と能力の高い奨学生57名に対し、3日間のリーダーシップキャンプと富裕層との交流を通じて、貧困問題の根本解決を担う未来のリーダーを育成する。



〒662-0051

兵庫県西宮市羽衣町7-30
夙川グリーンタウン3F



電話

050-6865-6966



電子メール

info@daredemohero.com



Web サイト

<https://daredemohero.com/>



活動内容と活動成果

2024年6月21-23日、奨学生57名を対象に外部の心理士専門家とトレーナー6名を招聘し、3日間のリーダーシップキャンプを実施。学年別に自己理解、意思決定、将来ビジョン、社会的責任をテーマに研修を行った。参加者の78%が「リーダー的役割を担う自信がある」と回答し、98%が高評価。8月には私立校生徒との交流会を開催し、異なる所得層間の相互理解を促進。全奨学生が目標成績を達成し進級・進学を果たした。キャンプ後、実際に学校でリーダー的役割を担った奨学生が6名以上確認され、具体的な行動変容が実現した。

SDGs達成に向けての今後の活動

2025年度は、支援する山岳農村部でのキャンプを実施し、自然との関わりの中で「命」や「食育」をテーマに加え、カリキュラムの幅を広げる。National Youth Commission及びABSNETとの連携を継続し、共同でリーダーシップキャンプを企画。確立したカリキュラムを他団体とも共有し、教育機会の拡大を図る。自主財源強化のため、SNSキャンペーンを通じた会員獲得活動を継続。最小限の外部講師で実施できる独自カリキュラムを完成させ、財源に左右されない持続可能な運営体制を構築していく。



特定非営利活動法人 関西NGO協議会



実施プロジェクト名/対象国

分野を越えた市民社会の連携拡大を通じたNGO支援事業/日本



〒530-0013

大阪府大阪市北区茶屋町
2-30 大阪聖パウロ教会4階



電話

06-6377-5144



電子メール

knc@kansaingo.net



Web サイト

[https://www.kansaingo.net/
index.html](https://www.kansaingo.net/index.html)



プロジェクト概要

環境系や地域NPOとイベント等で協働機会を拡大、メディア発信で認知度向上し、NGO事業の活性化とネットワーク強化を図る。

活動内容と活動成果

分野を越えた市民社会の連携を通じたNGO支援として、環境系や国内課題に取り組む団体との協働を促進する勉強会・セミナーを実施。ネットワーク組織間の理解促進や強化、メディア活用による認知向上、NGOへのフォローアップも行った。共催含む8回の企画に157名が参加し、連携の重要性への理解が深まった。関西の中間支援組織との定例会も実施し関係を強化。メディア転載は23件にのぼった。

SDGs達成に向けての今後の活動

関西NGO協議会は、市民社会の連携を促進する情報や人材のハブとなることを目指し、地域の団体との連携強化に努めた。今後は、団体間の関係構築に加え、市民社会全体としての社会課題への成果の見える化など、新たな取り組みも検討する。これらの活動はSDGsゴール17「パートナーシップ」に直結しており、引き続き連携促進を通じてSDGs達成への貢献を図る。



認定特定非営利活動法人 Alazi Dream Project



実施プロジェクト名/対象国

シエラレオネ共和国中高生性教育プログラム/シエラレオネ共和国



プロジェクト概要

シエラレオネ共和国ケネマ県において、40校10,000人の中高生を対象に、「中高生性教育プログラム事業」を行い、望まない若年妊娠によって教育機会を失うことを未然に防止します。

活動内容と活動成果

2024年3月～2025年3月、ケネマ県40校・計23,101名の中高生に包括的性教育を実施しました。ポスター掲示やスピーチコンテストを通じ、性的同意・避妊・女性の権利に関する理解を促進。コンドーム5,000個を学校・ナイトバーへ設置し若者の行動変容を支援しました。事前調査でコンドームの使用法を知らない生徒の割合は60%→29%に減少し改善、同意理解度も8%→26%へ向上。行政・警察と連携し、地域全体での啓発基盤を強化しました。

SDGs達成に向けての今後の活動

本事業で得られた成果を基盤に、今後はSDGs達成に向けて活動を拡大します。まず、教育省・保健省と連携し教員研修を導入、県内全校・全国規模への普及を推進します。また、緊急避妊薬の安定供給体制を整備し、若年妊娠のさらなる減少を目指します。さらに長期的モニタリングを通じて生徒の意識・行動変容を追跡し、女子の教育機会と権利向上を地域社会全体で支え、持続可能な性教育体制を確立します。



〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻
町308-1田澤ビル1F



電話

070-8908-8450



電子メール

info@alazi.org



Web サイト

<https://alazi.org>



特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会



実施プロジェクト名/対象国

イラン・カラジ市のバリアフリーまちづくり支援事業 /イラン・イスラム共和国



プロジェクト概要

【事業1】市内のベヘシティ通りのバリアフリー（BF）整備に連動し、沿道施設のBF改善や脇道の商店街のBF整備に係る市の取組み支援。

【事業2】小学生以上を対象とした「障害理解／BF普及講座」のプログラムとテキストの作成支援。

活動内容と活動成果

【事業1】カラジ市役所の道路部門等職員を対象に、3日間の「BF研修」を、障害当事者をアドバイザーとして実施、39名が参加

第1日：BF整備レクチャー

第2日：ベヘシティ通りのバリアとBF整備後体験

第3日：BF改善検討と発表

その後道路の施工を行う工事業者にもBF整備に係る研修を実施した。

【事業2】障害当事者が日常体験しているエピソードをお互いに出し合い、

障害に対する理解や、どのような対応が必要か意見交換を行った。

出されたエピソードをもとにその内容で6つの「寸劇」シナリオを作成、

子どもたちの前で寸劇を実演。このプロセスで合理的配慮への興味と理解が深まった。

SDGs達成に向けての今後の活動

SDGs10・11 イラン、カラジ市に住む障害のある人も、障害のない人と平等に、外出し移動でき、目的の建物に入り、社会的な活動に参加できることを目指し、JICAの草の根技術協力事業で外出支援に取り組む予定。

〒:257-0003

神奈川県秦野市南矢名
2053番地の4グレイス秦野
101号室

電話

080-3496-3423

電子メール

mint_assist@yahoo.co.jp

Web サイト

<https://www.mint-assist.com/>



特定非営利活動法人 Colorbath



実施プロジェクト名/対象国

ネパール山岳部のコーヒー生産者組合強化を通じたコミュニティ経済力向上事業
/ネパール



プロジェクト概要

ネパール山岳部における自給自足で暮らす住民に対して、地の利を生かしたコーヒー生産の技術指導、組合運営強化、品質管理のリーダー人材の育成を行い、住民の安定的な収入向上を目指す。

活動内容と活動成果

5ヶ年計画の活動4年目となる2024年度は、品質基準を維持して生産量を安定化させること、販売量を確保することを目標に活動を行った。モデル地域周辺の農家さんに働きかけ、品質の高いコーヒーを生産することの意義や知識・技術を教えるためのセミナーを実施し、100名以上が参加した。モデル地域と周辺地域の農家さんの間でも活発にやり取りも行われ、生産基盤の拡大にとって前向きな兆しが見えた。また販売量拡大に向けた取り組みも積極的に行い、結果的に、前年度の輸出量よりも1t多い、2.5tの輸出を行うことができた。

SDGs達成に向けての今後の活動

JICSのNGO支援事業でのご支援もいただき、これまで地道に活動を積み上げていくことができた。本プロジェクトは、山岳部で安定的に収入を得ることが難しい農家さんの経済力を向上させるためにスタートした。モデル地域での成功事例をつくり、それを波及させていくというモデルを確立したことで、多くの学びを得ることもできた。しかし、ネパールでは依然として、雇用機会の不足が大きな課題となっている。今後は、本事業での学びも活かしながら、分野や地域の垣根を越えて、より広く雇用機会を届けていく。



〒 811-1313
福岡県福岡市南区日佐2-
28-29 M-BASE 2



電話
080-1212-7420



電子メール
info@color-bath.jp



Web サイト
<https://color-bath.jp/>



認定特定非営利活動法人 UAPACAA国際保全パートナーズ



実施プロジェクト名/対象国

コンゴ民主共和国バリ地区の森林生物多様性保全とポノボ保護に貢献する養蜂業の再興
/コンゴ民主共和国



プロジェクト概要

コミュニティの感染症対策に効果が期待でき、現地で精製可能なプロポリス生産用の養蜂を、高付加価値の地場産業として導入することで、地域の多様性保全と持続可能な農村開発の両立を図る。

活動内容と活動成果

6月の視察では8村中6村で、助成金で作成し年始めに配布した養蜂箱（5箱）のうち、1～3箱へのコロニーの定着が確認された。プロポリス養蜂の導入となる、ハチミツの収穫に向け高いポテンシャルが確認できた。

他方で、コロニーがアリの侵入で崩壊・逃避したケースも多く、バリ地区の養蜂を巡る生物多様性の理解が進むと共に、喫緊の解決策が求められた。養蜂箱の台を鉄筋にして足に水を溜めた缶を履かせるだけで、アリの侵入防止には効果が得られる。

ただ現地ではこの資材も自己調達は難しく、事業拡大のため物流の確保も進めていく。

SDGs達成に向けての今後の活動

当法人の活動の目的は、定款にも定めるように「アフリカやアジアの生物多様性保全上の重要地に対して、自然保護活動を推進するための技術的・資金的支援に関する事業を行い、地球環境の保全に寄与すること」である。今回、助成いただいたコンゴ民主共和国の活動のみならず、現在、推進しているカメルーンの現場の自然保護活動を継続し、野生動物保護と地域住民の持続可能な開発の両立を目指すことによって、貧困削減や陸域生態系の保護といったSDGs達成に直接、貢献していく。



〒240-0113

神奈川県三浦郡葉山町長
柄1461-136 ファミール葉
山202号室



電話

090-4010-5906



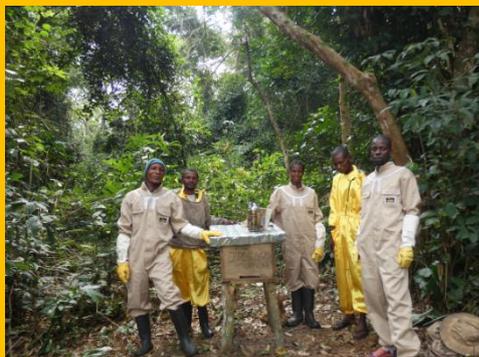
電子メール

communi@uapacaa.org



Web サイト

<https://www.uapacaa.org>



特定非営利活動法人 ソルト・パヤタス



実施プロジェクト名/対象国

フィリピン・パヤタス地区の高校生への経済・性教育統合支援/フィリピン共和国



プロジェクト概要

フィリピン・パヤタス地区の高校生を対象に、経済リテラシーと性教育を統合したワークショップの実施。



〒104-0014

東京都中央区日本橋蛸殻
町1-24-4 井川ビル2F



電話

090-5122-2533



電子メール

contact@saltpayatas.com



Web サイト

<https://saltpayatas.com/>



活動内容と活動成果

本事業は、フィリピン・パヤタス地区の高校生を対象に、経済リテラシーと性教育を統合したワークショップを実施し、計204名が参加した。性教育が長らく公的教育で扱われてこなかった背景を踏まえ、若者が将来設計に向き合う機会を創出した点は大きな意義がある。参加後アンケートでは、WSの満足度や有用性に対して高い評価が得られたほか、「家計管理には性教育の理解が必要」との自由記述も見られ、両テーマの関連性が若者の中に浸透したことがうかがえる。今後は、完成した動画教材を用いて、毎年継続的に高校を訪問し、新学年への周知とフォローアップを図る予定である。

SDGs達成に向けての今後の活動

本事業を通じて得られた成果を基に、今後はSDGsの「質の高い教育をみんなに（目標4）」および「ジェンダー平等を実現しよう（目標5）」の達成に貢献すべく、動画教材を活用した継続的な啓発活動を行う。特に公立高校での性教育の普及は喫緊の課題であり、現地教育機関との連携を強化し、より多くの若者に自らの将来を主体的に考える力を育む教育機会を届けていく。また、地域住民や保護者向けの啓発も視野に入れ、包括的な学びの循環を創出していく。





実施プロジェクト名/対象国

テクノロジーによるネパール僻地の医療課題解決のため技術支援体制の構築/
ネパール



〒101-0025

東京都千代田区神田佐
久間町3-21ポローニア
秋葉原2階



電話

070-9233-1025



電子メール

project@asha-np.org



Web サイト

<https://www.asha-nepal.org>



プロジェクト概要

ネパール僻地の医療提供体制構築に必要なソリューション開発・導入のため、PMOと品質管理の専門チームを組成し技術支援体制を強化した。

活動内容と活動成果

日本側は全員プロボノでの運営だったため、プロジェクトの推進課題があったが、PMO（プロジェクト管理オフィス）の設置により、有償メンバーとプロボノの協働体制を確立。進捗管理の体系化により、安定した運営体制を実現した。また、現地企業との協業によるソフトウェア開発においては、品質の担保が課題だったところ、日本側に検証環境を構築し、要件定義から品質管理まで一貫通貫で行える体制を整備。現地ユーザーの満足度向上とトラブル報告数の減少を達成した。現地調査を3回実施し、ネパール側との連携強化も行った。

SDGs達成に向けての今後の活動

本事業で構築したPMO運営体制と品質管理の仕組みを基盤とし、Dang郡・Ramechhap郡での医療プログラムの全面展開を実現する。業務マニュアルとテンプレートの整備を含め、「運営のための仕組み」を高度化させていくことで属人性を低減し、複数地域への同時展開を可能にする。ネパール側エンジニアへの技術移転プログラムを強化し、現地での自律的な開発・運用体制を段階的に確立する。日本のプロボノと現地スタッフの協働モデルを他のNGOにも展開可能な形で体系化し、裾野の広い国際協力の新しいモデルケースとして発信していく。

